

日本核物質管理学会会長 齊藤正樹 挨拶



日本核物質管理学会の活動にご協力・ご支援を頂きまして深く御礼申し上げます。お待たせしました。念願の「ニュースレター」創刊号をお届けいたします。「会員相互交流のプラットフォーム」として、また、会員以外の一般の皆さんや関係業界の皆さんに当学会の「果たすべき役割」や「活動状況」等をご理解頂き、更なるご支援を頂くために、「広報委員会」を設置し、時報・ホームページなどによる広報活動に加えて、「ニュースレター」を定期的に発行することになりました。

日本核物質管理学会は、米国に本部がある「INMM: Institute of Nuclear Materials Management」の日本支部として、1977年に設立されました。

INMMは、核物質管理の実務を安全にかつ安心して推進するための科学的、教育的な機関として1958年に設立された総勢1,000名を超える国際的な学会です。INMMは米国に本部を置き、世界に16の支部を持つ国際的な非営利団体で、核物質の管理に携わる技術者、研究者、管理者、及び行政関係者等で構成された学会です。この学会の使命は、「核物質管理及び関連技術」の分野における、科学的知識や専門的能力の向上、政策的対話、及びベストプラクティス等の促進を通じて、安全で効果的な核物質管理の実務に貢献することです。また、世界で25の「学生支部」が活動しています。

新型コロナのパンデミック状況下で、学会活動がなかなか困難な状況ではありますが、会議・セミナー等がオンライン化される利点を逆に活かして、活動を進めてゆきたいと思っております。今後とも、ご支援・ご協力を頂きますようお願い申し上げます。創刊号の発刊に漕ぎつけた広報委員会や事務局の皆さんの努力に感謝いたします。

INMM会長 Susan Pepper 挨拶



Dear esteemed colleagues from the INMM Japan Chapter:

It is my great pleasure to contribute to the inaugural issue of the INMMJ newsletter. I applaud the efforts of the INMMJ leadership to create this newsletter for the purpose of informing members about INMM and industry activities and events. Communication, especially in this time of the COVID19 pandemic, is so important to keep us connected with one another.

As the INMM's first chapter, the INMMJ has played a major role in helping the INMM extend its reach internationally to all in the nuclear materials management field. The INMM now has 16 professional and 25 student chapters. Over your 40+ year history, the INMMJ has been a strong and productive chapter, participating actively in annual meetings, holding annual chapter meetings, and collaborating with the INMM International Safeguards Division and ESARDA to conduct highly regarded workshops on safeguards topics. This newsletter will add to the value of the INMMJ to its local membership and the nuclear materials management community at large. Congratulations on your many achievements and contributions and, in particular, your latest initiative to produce a newsletter. I look forward to working with you in the future as you continue to contribute to our field.

Sincerely,

目次

齊藤会長挨拶	1	会員募集中	2
INMM会長挨拶	1	第42回年次大会の概要	3
企画委員長挨拶	2	2021年度時報の概要	3
プログラム委員長挨拶	2	2022年度スケジュール(予定)	3
広報委員長挨拶	2	第42回年次大会のご案内	3
学生部長挨拶	2	賛助会員企業(順不同)	4
会員コーナー	2	学会活動を支える人達	4
INMMJロゴ受賞者の談話	2	学会組織図	4

本資料は、日本核物質管理学会の活動を幅広く発信し相互コミュニケーションの場を提供する広報誌です。

QRコードにアクセスしてアンケートにご協力して頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



学会の活動を支える3つの委員会と学生部会

企画委員長 池上 雅子



核不拡散体制をめぐる国際情勢や世界の原子力政策が大きく転換する中、核物質管理学会の経験と知見は益々重要です。企画委員会では核セキュリティを重要なテーマとし、学術研究・産業界・官庁などの専門家が集い闊達な議論・分析を行うプラットフォームを提供し、得られた知見を社会に還元する活動を強化致します。また日本で長年蓄積されてきた核物質管理の経験と知見を後世に伝えるべく、歴史的資料の整理・編纂などの中長期的プロジェクトも企画中です。

プログラム委員長 相楽 洋



プログラム委員会では、学会最大のイベントである年次大会において、核物質管理・核不拡散・核セキュリティ分野で関心の高い招待講演等の企画、各組織・個人の研究発表や技術報告、良好事例や人材育成活動の共有、専門家によるピアレビューを行った会議論文誌の発行、若手・学生が気軽に専門家と議論できるポスターセッションやキャリアイベントなど、会員、非会員問わず多くの方が魅力に感じ参加いただけるような企画・運営を行います。

広報委員長 金子 英明



今年の4月から、初代広報委員長としてメンバーと共に活動を開始し、ようやく創刊号を発行することができました。この場をお借りしましてご協力頂いた方々に感謝申し上げます。本Newsletterが会員の皆様及び一般の方々対し、少しでもお役にたてれば幸いです。また、本Newsletterでご案内しておりますアンケートを通じて、皆様方の忌憚のないご意見を頂戴し、内容の充実を図ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

学生部会長 三星 夏海



2020年度、学生部会長を務めさせていただいております三星夏海と申します。学生部会は、学生会員間の意見交換や学会員との交流を活発にさせることを目的として、2020年に設立いたしました。2020年度は、第41回年次大会における学生セッションの運営、今年8月に開催された米国本部年次大会における学会発表支援を行いました。今後は社会情勢を鑑みて勉強会等を実施したいと考えております。会員の皆様には、今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会員コーナー



私は、故John F. Kennedy 元米国大統領が就任演説の一部で述べた格言“Ask not what your country can do for you –ask what you can do for your country” を座右の銘

としています。学会は、会員のボランティア活動で支えられています。自分が学会に対して何ができるかを考え、積極的に学会活動に参加することが大切だと思っています。 長部 猛 INMM名誉フェロー

INMMJロゴ受賞者の談話



今回のロゴ応募にあたり、本学会は、国際学会であると同時に「日本」の学会であるということを全面に出そうとまず決めました。そこで全ての日本人のDNAに刻まれている美しく壮大で力強い「富士山」こそ相応しいと思ったのです。核物質の管理技術も常に太古からの大自然の力の陰にある事を感じながら日々学会が発展する意味を込めました。 増田 學

会員(一般会員・学生会員) 募集中

- ・学会誌や年次大会論文集等、過去約30年間に亘る資料のアーカイブの閲覧ができます。
- ・各種の学会活動を通じて核物質管理の専門家と交流が可能です。
- ・年次大会やワークショップ参加登録費の学会員割引が受けられます。
- ・本部ウェブサイトの学会員名簿へのアクセスが可能となり人との繋がりが可能となります。
- ・学会功労賞や貢献賞等の褒賞制度の対象となります。
- ・INMMJが主催する年次大会等への参加費の割引があります。
- ・INMMJホームページの会員ページへのアクセス等の特典があります。

入会方法

日本核物質管理学会のウェブサイト(<http://www.inmmj.org/>)をご覧ください。

第42回年次大会の概要 (申し込みの詳細は最下段の囲みを参照)

第42回年次大会は、前回に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催とし、11月18-19日の2日間開催されます。オンライン会議の機能を最大限活用して、国内外からの発表や参加者同士が気軽に自由に交流できる場を数多く提供して参ります。

招待講演として、開会セッションで原子力委員会委員長上坂氏、欧州保障措置研究開発協会 (ESARDA) 代表からご講演いただきます。日本の核セキュリティについて原子力規制庁核セキュリティ部門より、原子力廃止措置における保障措置ガイドラインについて核物質管理センター後藤氏よりご講演いただきます。核セキュリティ文化醸成取組に関するパネルセッションを開催し、電力、核燃料サイクル事業者における取組事例を共有します。



第39回年次大会の様子

各発表では、非破壊測定技術・次世代技術、保障措置、人材育成、非核化・核不拡散政策、核セキュリティ、若手・学生ポスターの6セッション、計34件を予定しています。企画セッションとして、大阪大学名誉教授の池上氏より革新的原子炉概念の研究発表があります。企業PRルームや誰もが気軽に利用できる打合せルームの常設、登録メンバー全員と交流できるオンライン懇親会を企画しています。

会議論文はピアレビューを受け査読付会議論文として発行されます。優秀な論文、及び若手・学生発表は、厳正な論文審査、参加者全員による発表審査の上、表彰されます。本大会を単に成果発表の場とするだけでなく、最新情報の収集、専門家との意見交換、異なる世代間の交流、ビジネスシーズの発掘の場にもなるようにして参ります。

2021年度時報の概要 (会員向けに企画委員会が毎年1回発行)

2020年に発効50周年を迎えた核兵器不拡散条約 (NPT) は、国際原子力機関 (IAEA) の保障措置と併せて国際的核物質管理体制の根本的枠組ですが、核兵器禁止条約の2021年1月発効時の議論でそのジレンマも浮き彫りになりました。そこで本時報では、第41回年次大会で御講演戴いた日本の核軍縮研究の重鎮、秋山信将一橋大学教授にNPT体制の現状と今後に関して御寄稿戴きました。なお、核関連技術の進歩に伴う安全保障状況の変化にも一層の注視が必要です。例えば、核兵器国で開発配備が進む小型核兵器の拡散は必然的に核テロの蓋然性も高め、安全対策として放射性物質・放射線検知体制のより広い整備が焦眉の急で、核物質管理学会の知見が求められる新たな課題になると考えられます。

2022年度 (2021/10~2022/9) スケジュール

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
理事会	★			★			★			★		
戦略会議	★			★			★			★		
企画委員会			★			★			★			★
広報委員会	★			★			★			★		
年次大会		(国内)★									(米国)★	
Newsletter	創刊号★			Vol.2 ★			Vol.3 ★			Vol.4 ★		
その他				TXA&Mと Workshop								

第42回日本核物質管理学会年次大会のご案内

2021年11月18日 (木)・19日 (金) オンライン開催 (Zoom)

会員6千円、非会員8千円、賛助会員6千円 (但し、ご入会1口につき1名限り)、学生無料

参加申込方法:

日本核物質管理学会ホームページ (<http://www.inmmj.org/>) から「日本核物質管理学会第42回年次大会申込フォーム」ボタンをクリックし登録願います。

なお、上記で登録できない場合、申込書に記載の上、E-mailにて事務局まで送付願います。

送付先: am042-sanka@inmmj.org (事務局のアドレスとは異なりますのでご注意願います)

参加申込を頂いた皆様には、開催前にWeb会議参加用アクセスコード (URL、ID、パスワード等) をご連絡いたします。(注) 参加は参加申込みご本人に限定します。(賛助会員を除く)

詳細は日本核物質管理学会ウェブサイト (<http://www.inmmj.org/>) 「年次大会」ページへ

賛助会員企業(順不同)

北海道電力株式会社	日本原子力防護システム株式会社
東北電力株式会社	仁木工芸株式会社
東京電力ホールディングス株式会社	株式会社ニューテック
中部電力株式会社	三菱原子燃料株式会社
北陸電力株式会社	株式会社グローバル・ニュークリア・フュエルジャパン
関西電力株式会社	原子燃料工業株式会社
中国電力株式会社	日本原燃株式会社
四国電力株式会社	原燃輸送株式会社
九州電力株式会社	東芝エネルギーシステムズ株式会社
電源開発株式会社	日立GEニュークリア・エナジー株式会社
日本原子力発電株式会社	リサイクル燃料貯蔵株式会社
日本原子力研究開発機構	日本原燃分析株式会社
株式会社日立製作所電力ビジネスユニット	富士電機株式会社
三菱重工株式会社	株式会社ジェイテック
株式会社IHI / IHI Corporation	三菱電機株式会社
丸紅ユティリティ・サービス株式会社	

学会活動を支える人達

理事・顧問等

会長	齊藤 正樹	東京工業大学名誉教授
副会長	直井 洋介	日本原子力研究開発機構
庶務理事	森 鐘太郎	日本原燃株式会社
会計理事	島田 太郎	日本原子力発電株式会社
理事	金子 英明	元日本原子力防護システム株式会社
理事	池上 雅子	東京工業大学
理事	相楽 洋	東京工業大学
理事	坪井 裕	株式会社 島津製作所
理事	出町 和之	東京大学
理事	井上 尚子	日本原子力研究開発機構
理事	後藤 晃	中部電力株式会社
前会長	千崎 雅生	元日本原子力研究開発機構
顧問	長部 猛	元日本核物質管理学会庶務理事
顧問	藤巻 和範	元日本核物質管理学会理事
監事	増田 學	元日本核物質管理学会理事

企画委員会

委員長	池上 雅子	東京工業大学
副委員長	浅野 隆	日本原子力研究開発機構
委員	林崎 規託	東京工業大学
委員	玉井 広史	日本原子力研究開発機構
委員	稲村 智昌	電力中央研究所
委員	山内 景介	東京電力ホールディングス株式会社
委員	佐藤 篤史	中部電力株式会社
委員	木村 祥紀	日本原子力研究開発機構

プログラム委員会

委員長	相楽 洋	東京工業大学
副委員長	蛭田 一彦	原子力損害賠償・廃炉等支援機構
委員	長谷 竹晃	日本原子力研究開発機構
委員	芝 知宙	日本原子力研究開発機構
委員	向 泰宣	日本原子力研究開発機構
委員	外崎 絢菜	日本原燃株式会社
委員	中村 仁宣	日本原子力研究開発機構
委員	田邊 鴻典	東京工業大学
委員	中村 慎宮	日本原燃株式会社

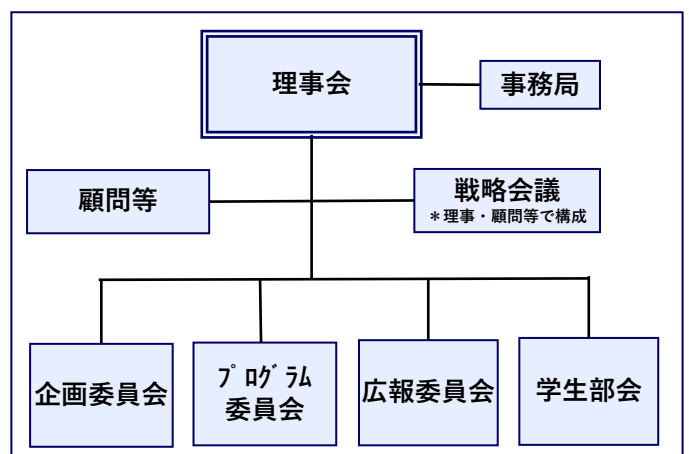
広報委員会

委員長	金子 英明	元日本原子力防護システム株式会社
副委員長	田崎 真樹子	日本原子力研究開発機構
委員	田村 崇之	日本原燃株式会社
委員	川島 正俊	東京工業大学
委員	小鍛治 理紗	外務省

事務局

事務局長	岩本 友則	元日本核物質管理学会庶務理事
事務局長代理	柴田 修	日本原燃株式会社
事務局員	青鹿 恵	---

学会組織図



編集後記

皆さん、Newsletterは如何でしたか。本創刊号では、普段目にする事のないこの学会を陰で支えている人達と、主な学会活動について紹介させて頂きました。今後も引き続きご愛読の程よろしくお願ひ申し上げます。(広報委員長 金子英明)

編集・発行：日本核物質管理学会

〒100-0011東京都千代田区内幸町2丁目2-3 日比谷国際ビル2階

220号室 TEL:03-6371-5830, 5835

E-Mail:jimukyoku@inmmj.org http://www.inmmj.org/